

# 定量止水付自在水栓

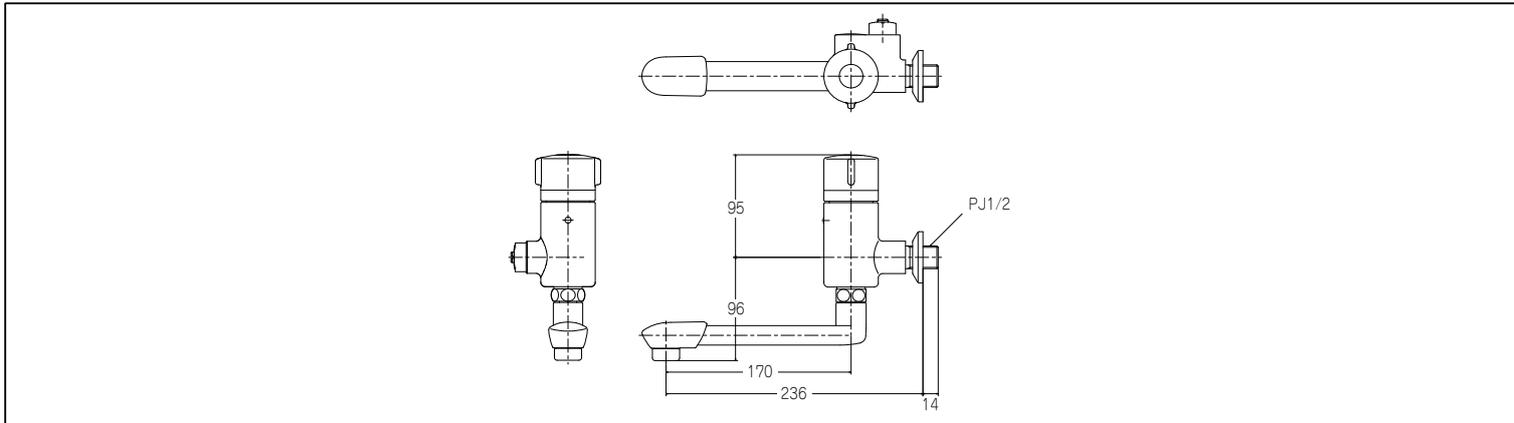
BF-B110

## 工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解の上正しく施工してください。  
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客さまにお渡しください。

## 施工完了図



## 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

### ⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドすることがあります。	水栓の上に物を落したり衝撃を与えないでください。 ※水栓が破損し、故障や水漏れの原因になります。	給湯器の給湯温度設定は85℃以下でご使用ください。 ※水栓が破損し、漏水のため家財等に損害を与える恐れがあります。	 禁止
修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。			 分解禁止
給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。 ※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。			 必ず実行

## 本製品の仕様と使用条件

使用最高温度	80℃	使用可能水質	上水	最低必要圧力	0.05MPa (0.5kgf/cm <sup>2</sup> )
使用環境温度	0~40℃(但し、内部の水を凍結させないでください)		最高圧力	0.75MPa (7.6kgf/cm <sup>2</sup> )	
給水(給湯)接続	PJ1/2	圧力条件	給水圧力 ≥ 給湯圧力		

### その他の条件

- 給湯圧力が給水圧力よりも高い場合、正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。
- 給水圧力が0.59MPa (6.0kgf/cm<sup>2</sup>) を超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力 (0.20~0.39MPa (2.0~4.0kgf/cm<sup>2</sup>) 程度) に減圧してください。
- 給湯に蒸気は使用できません。
- 給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
- ガス給湯器を使用する場合、最低作動流量 (4L/分) を確保してご使用ください。  
4L/分を下回ると自動止水しなかったり、給湯器が着火しない場合がありますので、次の点に注意してください。
  - ・10号以上のガス給湯器と組み合わせる。
  - ・能力切替付の場合は4L/分以上の流量が確保できるよう能力調整する。
  - ※4L/分は目安として普通の洗面器を30秒程度で一杯にできる流量です。
- 流量は30L/分以下でご使用ください。  
※30L/分を超えると計量精度を保証できません。

## 施工前のご注意

●施工途中、施工後の漏水確認や温度調節、ストレーナーの清掃を行うために通水が必要です。水道工事と浴槽取付工事は、十分に工程を打ち合せのうえ行ってください。

- 給水は、上水道に接続してください。  
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。  
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
- 商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。  
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱・取付けの際には商品の表面に傷を付けないように十分注意してください。

●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

株式会社 LIXIL ●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

# 引渡前の確認

お客さまに引き渡すまえに以下のような現象がないか確認してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーのゴミ詰まりはないか？	①③	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節栓は十分開いているか？	②	止水栓を十分開く。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	④⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	④⑤	キズがあれば部品を交換する。
自動止水が働かない	ハンドルの回転を妨げているか？	⑥	障害物を取り除く。

※点検箇所は下図を参照してください。

**注意**  
 定量止水を目盛「100」以下でご使用の場合は一度100以上に回してから目盛を合わせてください。そのまま100以下に合わせると、自動で止水しない場合があります。

